

製品名: HNRNPU マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80805**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	90kDa

抗原情報

遺伝子名	HNRNPU
別名	HNRPU; SAF-A; U21.1; hnRNP U
遺伝子 ID	3192.0
SwissProt ID	Q00839
免疫原	大腸菌で発現したヒト HNRNPU の精製された組み換え断片。

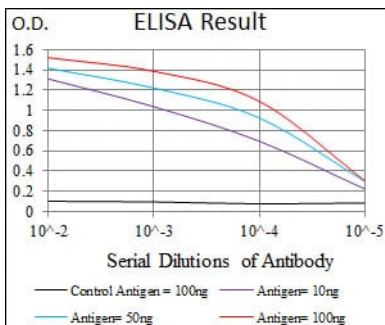
背景

この遺伝子は、普遍的に発現する異種核リボ核タンパク質 (hnRNP) のサブファミリーに属します。hnRNP は RNA 結合タンパク質であり、異種核 RNA (hnRNA) と複合体を形成します。これらのタンパク質は核内の pre-mRNA と関連しており、pre-mRNA のプ

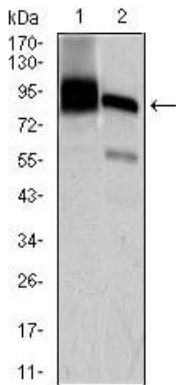
ロセシングや mRNA 代謝・輸送のその他の側面に影響を及ぼすと考えられています。すべての hnRNP は核内に存在しますが、一部は核と細胞質の間を往復しているようです。hnRNP タンパク質はそれぞれ異なる核酸結合特性を持っています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、RNA 結合ドメインとスキヤフォールド関連領域 (SAR) 特異的な二分 DNA 結合ドメインを含んでいます。このタンパク質は、hnRNA を大きなリボ核タンパク質複合体にパッケージングすることにも関与していると考えられています。アポトーシスの際には、このタンパク質はカスパーゼ依存的に切断されます。SALD 部位で切断が起こり、DNA 結合活性が失われ、同時にこのタンパク質は核構造部位から分離されます。しかし、この切断は RNA 代謝におけるコードタンパク質の機能には影響しません。この遺伝子には、少なくとも 2 つの選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが同定されています。

研究分野

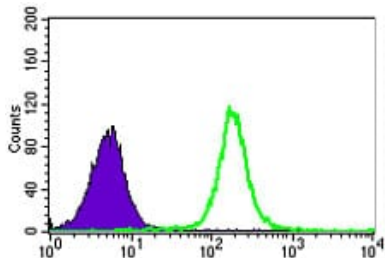
画像データ



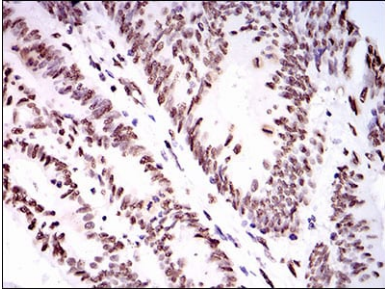
赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



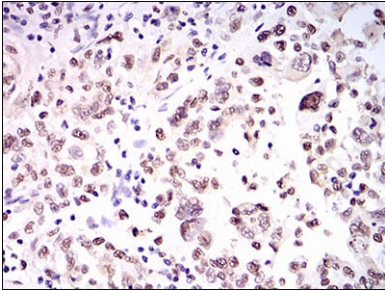
K562 (1) および Jurkat (2) 細胞溶解物に対する HNRNPU マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



HNRNPU マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (紫) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。



HNRNPU マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。



HNRNPU マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮内膜癌組織の免疫組織化学分析。